

『エレガントな町シカゴ』

通算12年に亘るシカゴ駐在を2014年末に終え帰国しました。冬の寒さを除けば人々は親切で食べ物は美味しく、日本食にも事欠かない大変に過ごしやすい場所でした。成田からオヘア空港へは直行便で約12時間です。

シカゴを訪れたアメリカ人がエレガントな町と言っているのを耳にしたことがあります。アメリカの大都市にエレガントという形容が付くのを意外に思われる方が多いことでしょう。しかもシカゴは禁酒法時代のアルカポネを代表するマフィアの印象が強いせいか怖い所というイメージをいまだにお持ちの方もいらっしゃるように感じます。しかし実際のシカゴはイメージよりはるかに清潔で美しい町です。



摩天楼を背景にしたミシガン湖



ルート66の起点の標識

後方にぼんやり見えるのはウィルスタワー(旧名シアーズタワー)

ニューヨーク、ロスアンゼルスに次ぐアメリカ第3番目の都市であり、その地理的位置からもアメリカの陸路、水路、空路の要所となっています。ルート66のスタート地点がありオヘア国際空港は世界で最も忙しい空港の一つです。

東に広がる悠々たるミシガン湖と町なかを流れるシカゴ川は市民にとって憩いの場であり又重要な観光スポットです。魅惑の一マイル(magnificent mile)と呼ばれる通りは高級ホテル、高級店が両脇に並び夏は夜中まで人々がそぞろ歩きを楽しんでいます。また町全体が建築の博物館とも言われており、様々な様式の建築物を眺めながらの町歩きも楽しいものでした。ピカソの彫刻やシャガールの壁画にも出会えます。

冬の気候はマイナス30度まで下がる事しばしばで、特にミシガン湖からの風が強烈で天気予報には風の影響を加味した体感温度(wind chill)がかならず表示されます。従って冬は屋内で

楽しむこととなります。美術館、シカゴシンフォニー、自然史博物館、科学産業博物館、水族館等の充実した文化施設は長く寒い冬を過ごすに十分な内容となっています。

シカゴニアンにとって春の訪れを感じるイベントを二つ紹介します。

〈セントパトリックスデイ パレード〉3月17日に近い土曜日

シカゴ川を緑に染め、人々は緑色の衣服や飾り物を身に付けてパレードに参加したり、見物に出かけます。



緑に染まったシカゴ川



パレード見物の人々

〈メープルシロップシュガリング〉3月頃 郊外の公園にて

楓の木からメープルシロップの原液を採取し、煮詰めてシロップを作ります。



バケツに溜まった樹液を観る子供達



ボランティアによる樹木の説明